事例番号:280152

原 因 分 析 報 告 書 要 約 版

産 科 医 療 補 償 制 度
原因分析委員会第一部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 40 週 6 日

6:50　陣痛発来のため入院

4) 分娩経過

妊娠 40 週 6 日

10:02　経腟分娩

5) 新生児期の経過

⑴ 在胎週数:40 週 6 日

⑵ 出生時体重:2900g 台

⑶ 臍帯動脈血ｶﾞｽ分析値:pH 7.31、BE -8.6mmol/L

⑷ ｱﾌﾟｶﾞｰｽｺｱ:生後 1 分 8 点、生後 5 分 8 点

⑸ 新生児蘇生:実施せず

⑹ 診断等:

生後 6 日　退院

生後 7 ヶ月　小頭症、精神運動発達遅滞、体幹部低緊張、四肢の緊張亢進、眼球運動・上肢運動失行疑いと診断

1 歳 1 ヶ月　てんかん重積と診断

⑺ 頭部画像所見:

生後 11 ヶ月　頭部 MRI では脳の発達過程を示す髄消化遅延があるものの、典型的な PVL 所見ではなく明らかな周産期の低酸素や虚血、先天性の脳形成異常を示唆する所見を認めない

6) 診療体制等に関する情報

⑴ 診療区分:病院

⑵ 関わった医療ｽﾀｯﾌの数

医師:産科医 1 名

看護ｽﾀｯﾌ:助産師 2 名

2. 脳性麻痺発症の原因

妊娠経過、分娩経過、新生児経過に脳性麻痺発症に関与する異常は認められず、脳性麻痺発症の原因は不明である。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

⑴ 妊娠中の管理は一般的である。

⑵ 妊娠 40 週 4 日陣痛発来の訴えで受診した際の対応(内診、ﾉﾝｽﾄﾚｽﾃｽﾄ)と一旦帰宅としたことは一般的である。

2) 分娩経過

⑴ 妊娠 40 週 5 日受診時に胎児心拍数陣痛図所見および内診所見から一旦帰宅としたこと、妊娠 40 週 6 日陣痛発来のため入院としたこと、および分娩管理(内診、分娩監視装置装着、ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ測定)は一般的である。

⑵ 臍帯動脈血ｶﾞｽ分析を実施したことは一般的である。

3) 新生児経過

新生児管理は一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2） 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3） わが国における産科医療について検討すべき事項

⑴ 学会・職能団体に対して

脳性麻痺発症に関与すると考えられる異常所見を見出すことができない事例を集積し、疫学調査や病態研究等、原因解明につながる研究を推進することが望まれる。

⑵ 国・地方自治体に対して

なし。